

平成28年度酪農教育ファーム活動事業計画と進捗状況

平成28年6月13日
酪農教育ファーム推進委員会

I. 平成28年度事業の考え方

中央酪農会議は、平成28年度の酪農・国産牛乳乳製品理解促進広報事業の考え方について、T P P発効等を見据え、「日本酪農の存在意義の理解・定着」「国産の牛乳乳製品の必要性」に加え「日本酪農の存在感向上」を訴求テーマに、3年程度の中長期で実施することとしている。

平成28年度の酪農教育ファーム活動については、上記及び27年度の専門委員会における提言を踏まえ、提言内容の周知や認証規程の改定及び運用の見直しを実施し、適切な認証制度の運用を行う。また、酪農体験における防疫・衛生に留意し、以下の活動を実施することとする。

II. 平成28年度活動計画

1. 推進委員会・認証審査委員会等

- (1) 全国の酪農教育ファーム推進委員会の開催【6/13、3月】
- ~~(2) 全国・地域推進委員会合同会議の開催【5月】~~ ⇒ **実施なし**
—※上記推進委員会に地域推進委員長同席の形式で検討
- (3) 指定団体担当者会議の開催【5/12、2月】
- (4) 地域推進委員会への支援・出席

2. 認証制度の適切な運用

- (1) 専門委員会提言及び認証規程・運用等の改正内容の周知
・指定団体経由通知のほか、地域推進委員会や研修会等の機会を活用し周知を図る。
- (2) 新規認証牧場・ファシリテーターの募集【6月～11月】
- (3) 認証審査委員会での審査実施【12月】
- (4) 研修会の開催
 - ①認証研修会：**3回【札幌、東京、大阪】（1～2月開催で、日程検討中）**
 - ②スキルアップ研修会：**別紙1のとおり**

認証期限者数

	28年度	29年度	合計
北海道	17	54	71
東北	15	54	69
関東	15	69	84
北陸	3	30	33
東海	14	51	65
近畿	14	17	31
中国	9	11	20
四国	7	8	15
九州	12	29	41
合計	106	323	429

(5) 認証の管理等

- ・ 認証継続・変更、認証期間延長（理由書）、指定行事（様式作成）、受入実態調査

3. 実践者の拡大・普及

(1) 未認証牧場：各地域での取り組みのほか、全国では記事広告等を通じて実施

(2) 教育関係者：各地域での取り組みのほか、全国では以下を実施

- ・ 夏の研究集会：日本酪農教育ファーム研究会と共催

8/6（土）新宿区立戸山小学校にて開催。

- ・ 牧場体験研修会：7/25（月）石田牧場(神奈川県)にて日帰りで開催。

(3) その他：過去の研究実績を、組織内や学校への紹介などにおいて使えるよう、分かり易くまとめた資料の作成を検討。

4. 酪農教育ファーム活動における安全・衛生・防疫

(1) 各研修会での啓発【認証研修会、スキルアップ研修会、牧場体験研修会】

(2) 最新の情報の伝達【文書、HP、SNS】

5. 広報

(1) 機関紙発行【感動通信、年4回発行】

(2) HPによる情報発信、管理【認証募集案内、研修会案内、ツール申込、その他】

(3) SNSによる情報発信【新規取り組み】⇒facebook ページを年内立ち上げで検討中。

6. 制作物

(1) 既存の教材等の増刷・配布

(2) 新規映像資材制作の検討

(3) 認証牧場への勧誘等に使用できる、酪農教育ファーム紹介パンフレットの作成、データ提供

7. 他団体との連携等

(1) 地域交流牧場全国連絡会

(2) 日本酪農教育ファーム研究会

(3) 酪農教育ファームの発展に資する学識経験者・研究者等の実施する研究活動への支援・協力

8. その他留意事項

平成30年度に酪農教育ファーム推進委員会設置20周年を迎えることを踏まえ、酪農教育ファームの更なる発展を目指した取り組みを検討。

以上